



国総研資料 1351 号 「防波堤の嵩上げ設計における差し筋のコーン状破壊照 査に関する検討」を刊行します

気候変動への適応策として既設防波堤の嵩上げが進む中、嵩上げ部の差し筋に対するコーン状破壊照査の効率化が課題となっています。

本資料では、差し筋配置や埋込長などの設計パラメータが照査結果に与える影響を整理し、コーン状破壊照査において重点的に確認すべき差し筋列を効率的に把握するための判断図表を提案します。

<目次>

- 第 1 章 はじめに
- 第 2 章 検討における各種条件の整理
- 第 3 章 設計パラメータの影響検討
- 第 4 章 逆転条件の発生判断図表の提案
- 第 5 章 まとめ
- 付録 A 有効水平投影面積 A_c の算定
- 付録 B 作用耐力比の逆転に対する設計パラメータの分析結果
- 付録 C 逆転条件の発生判断図表

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先 URL : <https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1351.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾施設研究室
室長 竹信 正寛 (内線 : 3330)
TEL : 046-844-5019 E-mail: ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp